

地域を支えるだけでなく未来の防災を作る存在をPR！

参加メンバー

学科	学年	名前
教育学科	3年	小川真依
教育学科	3年	松阪美咲
現代日本社会学科	3年	太田楓馬
現代日本社会学科	3年	田畑好誠
現代日本社会学科	3年	西村泰知

活動の目的

- 1、消防団の訓練や活動を体験、見学することを通して、学生の視点での消防団の新たな仕事や役割を提案する
- 2、消防団の存在が世間に正しく認知されるように様々な場でPR 活動を行う

課題・反省点

学生の講義の都合で学科ごとの会議・活動が中心になってしまった。そのため、学生間で情報共有等を行う機会が少なくなってしまう、学生全員での活動、成果を上げることができなかった。

また、活動を通して得られたアンケート結果を今後の活動にどのように生かしていくのかを話し合う必要がある。

活動を通して学んだこと

消防団の方々がやっている活動についての理解だけでなく、活動に対する思いや情熱を間近に見ることで、地域を守る仕事、地域貢献することの良さを学ぶことができた。

〈こんな人におすすめ〉

- ・消防団の活動に興味がある人
- ・消防職員などの公務員に興味がある人
- ・学外の方とも交流したい人

令和7年度 主な活動

スタンドバナー作成

消防団の活動をアピールするものや消防団への参加を呼び掛けるものにするために、一目で内容がわかる言葉や色を使うよう意識して作成した。



チラシ作成

「地域の安心は一人ひとりの支えから」というキャッチフレーズをつけることで消防団の活動を無関係だと考えず、意識を高めてほしいという思いを込めることができた。



伊勢まつり ブース運営

小学生以下の子どもと保護者の方を中心に楽しんでもらえるようにボール転がしゲームをしました。たくさんの方が集まる場所で活動したことで消防団について多くの人に知っていただく機会になった。



アンケート調査

アンケートを設置する場所や景品を工夫することで多くの方からの回答が得られ、消防団に対する意識を様々な視点から知ることができた。

